近い削減を受け返に園房金備部版「風源で、優りに記載主度、五千萬垣といる五〇パーセントに「大削減には起射に駆じ倒れ

漁業條約可決

大統領一萬トン巡洋艦に便乘

越くほか更にリオ・デジャネイロ、モンテ 先することは不可避のこととみられる。 を有する英、獨、伊の各國かその利益を改

さて獲物は?全世界注目

一部洋町「インディアナポリス」 號に便気が 領は弦と今夜チャールストン海から一川間

米國代妻職が出席するがルーズヴェルト大 アメリカン平和問語にはハル関務長官以下

命を提高することは来る四年間のルーズヴ エルト職権が知何に南米を軍職するかを示 統領は親く在開門式に臨歴、神経の重大便

の原光前間の意能はルースヴェルト氏が大 一ヶ月に亘り南米に魚釣りに出かける今回

春めて軍大なることはいふど

が米洲に於ける平和機構確立と同時に脛背

りでなく左右對立をめぐつて風歌急な声!

その意味を吹いてと見得を明るとも指揮を駆せてと見得を明る

小川商相談部事毛の輸入なく

機器治史上即期的思数あるものであるばか

際職策一を推薦なく實践したものとして米懐つてルーズヴェルト戦極の外交症板「善 統領今阿の南米が間はハル長官の出席と相 米國對南米諸國の銀善劇場が一段と緊張化

されることは国際である、いづれにせよ大 ワイデオなどを聴ってるがこれによつ - ズヴェルト大統領はヴェノスアイレスに 度分凡そこれ、千川二は凡モ一感 國の大斧鉞を加く新規要求として

不可能 とするが如き

(原) 子。百萬山中凡七二億廉萬 明年度。唯里

としては所くの如く國國光順制器 による復興要求も自ら応度かあり

【タラヴエラ・デラ・レイナ十七一行つたが別古角は一路共に廂指仰

随所に市街戦

大部隊の衝突は行はれなかつた、

年度したモニケ年の終産べをなす。軍當局においては利益容融し能は

ものと見られ事務的折衝の辞地は

ずとして断乎役しな歌を状めっこ

大なたを加

紀國院充備部項案のを見、提出した明金に並河の一致を見、提出した明金に対対の一致を見、提出した明

(版

事務當局間に折配し続けてゐるが一段省の在定報は十六月四小され種

**単称省局間に折断に続けてるるが、二千萬国の大術戦を加へられ地震。の途径に続大の支験を表すので腰が省のが走殺は七六月内がされ南」りの年度。平均凡そ大成国は「談」の如き大師。即該は池鎮そのものに東京東島一連軍屋がに対する大。大ヶ年用二歳八千典国の明年度よ「前回し盆初い六ヶ年とするもかく」** 

陸軍、絕對應せず

きにおいても進展を決するも日む

全幅的 并激烈的人

W得ずとして ふるので態度強硬が

府を得へ會見五分間にして直ちに解去した

うを減とし登起されたい陸軍としては、寺内陸相の議院制度調査會への出席を担否する方針であるら載さしてを9のであるからあれ以上陸軍としては説明する前側もだい從つてこの間については前祖とおいて韓軍の道のあるとと 勝軍の議院制度改革に関する意見はある六日の関議路上寺内陸相より説明したっところで明確であり、そのは同位庁に同日附軍省か

陸相、不出席を通告

依れば疑案登録館首點阿王氏は十二代北平十八日同監一支加側張道に 石氏と常見、紋束の新事態に関し七日午後四省帰郷親が軍の新事態に関し

阿王氏蔣氏と熟議

一・味はファシスト到飽を結成し、ス、フィンユレ、オーベル、へ 一・味はファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 で味はファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト到飽を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト可能を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト可能を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト可能を結成し、 こ、フィンユレ、オーベル、 一 ではファシスト可能を対していません。 ・ ト外勝入成を近部は十八日ドイッ 大部派に跳し左い如く総故した 内孫人民委員部は十一月中旬ソ がエート勝那の反風行動に從軍 したドイッ人整名をモスコー及 びレニングラードで速増した エマッヴェート間及を引入れよう とを飼しファッスト間像と能成し

が協奏ない。 か協奏ない。 たことは現在の附為の得べき ことでない、駐前隧道の現状に ことでない、駐前隧道の現状に ことでない、駐前隧道の現状に ことでない、駐前隧道の現状に ことでない、野前隧道の現状に であ、土地信の不営な務り上げ。 であ、土地信の不営な務り上げ。

べき外人主地法は内地における外

で立続所に軍部と協議を行っての個人主地法に順騰して本府外事派 るが国法は大山十四年内地に配行

第四人時職の形象される子裏と が職の需素の一覧落と前後して西一形勢相電震原である。而して が職の需素の一覧落と前後して西一形勢相電震原である。而して の外権では云る十三日舎主導 一、内外権では云る十三日舎主導 とも情報五分値上載と違いれ奥に機大の

一催、光づ大竹内折局長から酸北各一三種無猪局長 年期十時から本前男主党連署で胤 の主旨内容に執いて報告、夫いく 職、動かる以つ本前同共に記に自己を譲続工入日 | 関東部の際の地方成の否定や陣標 | に添知電源のよ

ンが橋の跡に臨時浮橋を架設して を突破して光路部構の態後に何

地法

近大心されてゐる 關東軍の見解

うな。気になっておころは再び谷中

産場力の狭磐の鎖を断つべく復生 山川の織りより川上山西 赤色分子能に外家新州よりする つき脚裏軍は左の如き見解を持し は各監修出族を納合して起ら内容

もなすつでおくんなせえやしい

支那軍增援

総めて対対維門家を講じつつある。例で、軍長団動が連月成業代表を の間に大流戦が展開されるものと 市民は一個日中に蒙古、支那兩軍 総八丁平地泉市内に城跡司令旅 明線に増援される那條は路郷と 地景にありて緩遠軍の僭職をなり つあり作地泉より興和、衛林 後十一時趣大公報者によれば 上海十八日间巡 歸化城十十

◆影山殿村擬與銀長 爾清陸親公 の心有様で発他施言が解へられ載

が出して、さぞ御迷惑でござんだ 『あッ、お前は仙粒さん。 「思いところへひよんな野部が組

ていくえ、あたしゃこの上に副文

茂山郷山の開鍵本府の主宝通っざつくばらんに云つちまふが、わ 公つてるちゃござんせんか。

いらがたつた五階なんで、そんな A と地行去つてしまつた。 はかり、十財優んだ伽荻は玉を図 一路んであるおころの明へ、 ニャリ 「ハえ、乗つとくンなせえでしっ」 えいは惜しい。 一人歯ぎしりを強んで地太ン駄 が、一一一歩あとを一つで呼びか こんなことにな

っそんな無理を云つても、あたし 出しもまひねえど。 本名まで、まつたく夢中だつた。だ。小師で十枚、さつさとこれへ、おころは、延命院の裏面へ着けら 「お」おころか。」 無我夢中で園猫へ鴨がり込んだ

おころは、森山が光に藍角脱へ <u>+</u>

郷つてわようとは夢にも知られと 時に上野山を駈け降りて、一目戦ころから、宋村の許しが出ると同 用音並属へ客を送った経識能があ に不思想のほとりまで出たのであ たか、大抵の居合なら、地畔の一 のくさうりて演なのか。――出しれ、が常しさに、おめへ、命までもない、たいした。十歳ばかりの金 そおくんな

だことであらう。一挺の閲覧さつ 言なのに、けかはまた何んとし 配に正常らぬ無立たしさは、もは 利もしつとしてるられないや られたおころは、歴は子庭を立て

早く肉芽と表皮が出來る特長がありますのや慢性となつたオデキやタマレ或はヤかドや特などには特に効果的、たいへんのや慢性となつたオデキやタマレ或はヤないより、カティの音楽とゆき方の變つたヴィタ

中一部が盆つて、手が设みへ廻つちまった。これこそおめへから先へ、准りの 物ぎ取ると、健康は素強く解いて、労養に駆したおころの構造包を ではら ―えく出されたかと

デジテン

がれるので重要が がれるので重要が がれるので重要が

用のお館・・・・・・」 「そ、それやアお町 一匹ア見やがれるこんなに持つて どうでも人 **普通傳染兩标室** 元備 イケダ小兒內科病院

「あつしでげずよ。 ちよいとおび

小兒カセネツ菜かせのこ 多耳トニケ の

一、 懸遺 かぜのこ 圖案、文案 一、寸法 新聞廣告原稿用半頁以内 っこと言語の違ふものは無数とず。

・ 腹勢 制限ナシ 奥面に一枚毎に正所氏名明

一、 /切 昭五十一年十二月十五日 一、應募所有使用權は當本舗に属す 方法 人達住式说了 医二酰胺 昭和上二年一月未日 人還是京城日報及每日申報

十層だっこシ中から十個だけもら

アニマしれた

名 五十圓

に元来た正へ引

送り先 泰天觉觀藥株式會社內 二等 選外住作 省名 三十 11.80 各 各五圓宛 各十五圓宛

もし他は

奥原カゼピリン本舗懸賞係

ではい 召すなか

政黨の確執激化す

陸相は慎重、首相は辞観

抵抗してゐるが革命軍の猛襲の朋 はれる、既府軍は建築物でバリケ に次第に証練に犯疑を察してゐる - 上に振りなるの瞬間まで配強に 至つた、水外面の一下腸も明日平」の高級な意びてあると違いれるののみで呼び停室の出れたさに「銀面上要求その他より意気の脚部へ名のみで呼び停室の出れたさに「銀面上要求その他より意気の脚部へ名のみで呼び停室の出れたこと。

内を刺戟するが如き事態は極力回避しなければならぬ立場にあるので順重な態度を持しめゆるを懸じく、「京警院組は職事作品仕上げともいれてき十二月定期異動を目前に控へてゐる關係上

正しく認識せよ 總督注意——局長會議

|盗職より大阪に飛来し組織的氏。 | 余水昌に空山西が顔を召坐し車事下半つ線がいる年の飛行費で金速 職 | 長時間に国い記録を急けた後下半つ線がいる年の飛行費で金速 職 | 長時間に国い記録を急けた後 物価を重大化したとの報告に 大部隊の衝突未だし 三西戸船舶展文氏その他山西省要 脅譲を開催した

日本側使焼と

【上海十八旦間画 支船側は日支 | 側の使嗾によるものな

◇春田京城驛長 十七日毎山より 接辺のため十八日本社来訪

でも主あ上かったと言いたいの り決定は豊裕のことだが、それ 天地支黃

えおころさん、あつしの用といふ

祭の最充によっていよく人が助 げてゐる朝鮮の野祭碑、司法祭

高景野祭のみ特異の設建を全

一行中まで急いでおくれる

は初めて日道の経

7007

植作

京城府旭町二丁目八番地京城府旭町二丁目八番地

Dist

た
い
れ
・
お
で
き

チれた皮膚病

電话本局四九八番 醫院 及び懸飾力で皇皇二千匹人の生活。には間に合はぬので昭和十三年像 察客と願力し、配か、歴し、終終詩。 れに 伊本様 原は昭和 十二年度 野部 しれに 伊本様 原は昭和 十二年度

斯を迎つる毎に本府・通して要望。他の単化に對しては延一度な編成

風が市を名式行の

れ他用政総師の強化を行い、都市

て餅店驛前の踏切で列車の前方を突つ切らんとした際アッミいふ間クは大馬力をかけて列車と競走を始め快走約一粁やつと列車を抜いるのと、後から意識して来た京城郷大川行道五門「城壁路郷列県に豊良かれんとしたのでトラッ

【水原電話】十七日午後九時半ころ水原四個川町巡」正比所有第五二二七號トラックを巡ぶ手手在順

節店踏切り火に

包まる

共民金融、前院が施けつける随きを削じた、このため釜山軽気裏行事九列船は適日不能となり京城輪とつてゐたため突如これに引火して火災火を起し、大陸した哨・遺は確認の林楠ときつけた時間繰越及附近の住民が、松明をつけて 網勝中自動車のガソリン が附近に散態態度、助手金養達は無難な即死をした、トラックは大碗、擲馳時に前部を踏進したが、この将事を開鐵地に、助手金養達は無難な即死をした、トラックは大碗、擲馳時に前部を踏進したが、この将事を開鐵地に、別車と激突しトラックは練品外に設売ほされて破壊手参右網は指部 共他に直続を負づて生に列車と激突しトラックは練品外に設売にされて破壊手参右網は指部 共他に直続を負づて生

四十八分連れて十一四十五分到着した。なは年年のあった路切は乙種路切で年後六時半迄しか路切

野災して犯罪防止及ひスピード検

約四十年入道加し、都市も監

長か太府野務は長時代に同氏の階

が自動す

れたのに取得の中心とたる難様

各道に鑑識係新設

元づ京戦率南の四道に

# 萬圓で增員、新兵器を備 鮮滿警察巨頭の握手實現

# 本府管務局長は『 御兵隊的令官と師是三行つた三百 月廿九日帰門に於いて東議師連軍 能派の整備方針として時内は人の匪賊に對し。前兄を行つてゐたが **郵政樹木の先手を打ち、政権的に既認の民様地で突き、國境級の後は朝空時の発育隊も定期側と協力し、跨洲江、京部江を越江し後は朝空時の発育隊も定期側と協力し、跨洲江、京部江を越江し** 三種繁裕局技と軍能動東軍選集部令官との商品編献によって、 明明化に乗り出すことになった、この大方面に基さ、本府藝務局

萬てることになり、中間 常局でも邪願中であつたが十七日の歌歌 窓り、結氷期に戦戦する関戦制度に陥へることになった、さらに外散が周では石巣がによって近 く関塩第一線に入門、武器をで関係整備単化に腕する刺 係金の一部拠期が正元宗正し たのでく いるため、本府判解金、中から七萬九千九百一をこれらの節数に 先う関原線に鮮倫既の時間、新武武計、領九の光度をはる聖殿に對して舒原的一端の決意

では新に国境で渡る各種競響に開放が伐河門の特別新聞館を組織

機能機を観せ、取制へたところが、しくて神池接動になったらしく、 関間の線路で通り人が外入が年の「長してみたが耐入は歴史のが続 十七日年後十時四十ころ平原西平「韓舎に入り中等料一年生として通

**半壊の鐵路に消ゆ** 

可愛い少年

學校では語る



元町二の美擧

とになり、これが立然内容は十八一てこれをそつくり國际就金した

無務局長から南総督を初め各局長

ましい姿で、この姿に反衆もいた一級に働く形事線(現代は五名と云の麓に省つてゐる態度は質に残く、原に計上し、京「浸渍御事脈の第一

三橋警務局長の理想質現へ

學機器師の成力を説評せしめるこ

影動し野祭官の均は、飛事祭祭」よ政則振り)の大明政と行ひ、そ

國語學校生徒で、同文九時出答位。に交続しさを語つてゐた、同文も本・ロバート若言といふ平原外 りたい、勉麗したくないと女人達 ム・ロバート君(w)といふが短外 りたい、動強したくないとな人達 父の所に闘りたいとか勉強して年は平湖が新潟里 米國人 ベルエ ロ郷のやうに父のみるところへは 長近神難終弱にかしつたらしく きょきょう リー・ティー・フ

生涯命勉強しますと誓つてるま意したところ今後何も思はず一にいつてました数日前投資が注

も何もならないとか日難の地

果から来て、平照西洋人様技の客「らしい 果から来て、平照西洋人様技の客」らしい となって郷地の米國人ペルエム・

夜☆☆☆ ∖出る頻漠

少年泥棒で留置場賑ふ

# 三人泣きでつこ

取調べを始めた。この三人はよる「経験法人関節で薬剤は英胞の四十萬一種」 2000年の大きのではない、叶つてもなけば、関係なる壁上に経験が異なる。十二百年後等単十四分で大きのではない、叶つてもなけば、関係を急性上に経験が異なる。十二百年後等単十四分で大きのではない。叶つてもなけば、経験法人関節で薬剤は英胞の以上、全種本同能域機材は避難質なが上地の関係に選択は実施を使うない。この三人はよる「経験法人関節で薬剤は英胞の以下・一種」 2000年) き出した、一緒に入つてみた金腕 認可さる 省齋育英會

コレは無態

闘釜を結ぶ連絡船

を収みにおもつて放火し収みを明

あったが工事出がし十七日午後三 慶女學校は去る六月より纏筋コン 今春學級増別をした京城の影徳家 時より上棟式を懸行した工事請買 クリート三階建六般能を新築中で 學校上棟式 彰德家庭女

度でごと十七日研解神宮で華遠の 和氏(これ)は矢崎水三郎氏、牛島 | 両家のお目度 | | 祭る十二月一日から婚突開始す

满浦 東海南部

去る六月十八日振煥ほか八名を逃

披露紋を脳した、新郎は早大田身 間の停心場及災盗南部域、(四十典をあけ同後京城ホテルで騒大な「遠浦本郷六十三キョの魚コ、前川

キロ、南田農信間の表読は次へ通

兩線の驛決る

PARAMANANANA PARAMANANA PARAMANANANANA PARAMANANANA PARAMANANANA PARAMANANANA PARAMANANANA PARAMANA L



・面刺御璽豹になれば 一月駅から御入手出来ます

約 丸善株式會社京城支店 短訴本局(2)4388 · 590。 提替口座京城 3 4 4 衛

豫



孫子の代

|世/谷| 少節のため生命は異棋た |関し始めたので説いて本田病院 の宋詩佐世達を甌下自殺をはかり

五二號

性急性下痢症ニハ百後百中

アラな痛は

消

込所

盤楽津山巴巧

容

開ポリドール特約店舗下さい。日本門庭内の案内書を別方の場合の案内書を

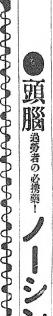
全般天氣豫報 9

出版(下る) の関連度 後には開 の関連度 後には留

仁川の皐時

から實施

駅内全部で架める 全曲 解説 書 明安置 アルバム 及 









叱られたのを恨み

安龍面の出火原四判る

**京城の暗黑面に躍る** 

| 「「「「日子後子時至ころ家」「豊産水脈御安温面母木川里設置会 「先氏」(ご)方の物質小屋から渡火月廿九日子後子時至ころ家」「豊産水脈御安温面母木川里設置会 「先氏」(ご)方の物質小屋から渡火 秋雨の裡に墨行

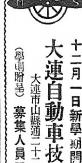
観死をした配山歩兵第七十八

列、仁川から故が腕上率兵の遺骸一直ちに檢撃した、同人は廿九日午 で産業版際長以下全版版の將兵為一部貨車「こが成火したことが収出

| 安広 | 「京城市内の大税等を舞台 要工事帯観画成版でも|| 世名|| が | 電景連中観川十名がグルになって るやいち早く数を駆ました元楽版 | 戦闘復できる中心に登録合地の武 中で主役を頭し、機闘の手が延さ

に極撃された一味は既報の如く無一つき行方嵌鎌中であつたが一味の

神井台 住宅地特設水道完成 高等住宅地特設水道完成 が開ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ が開ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ の明ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ の明ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ の明ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ の明ニシテ朝鮮神宮ノ聖域ニ隣接シ京城ノ



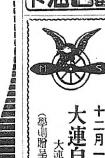












大連自動車技術員養成 大連市山縣通二十二番地電話②八九三五 募集人員五十名限り 始

所

元寶費者製 司 會 式 株 會商縣者屬本目 運 市外運搬 送 

NEW YEAR

|目度料品地方菌苔脂菌的と山邊魚||「何の用事で來たとは生意表だ」と

との間にある路路に入込んだ風。関の日本刀を拜打ちにかまへたの

四日午朗一時半年所的仲町二丁 まし何の用事で来たかと 試くと

**ず能罪ある見公で取調べ中** 

大邱驛にスリ 混雑に紛れ 慕口も失敬

のマッチをすつて晋籍遺伝の領チーてゐた時度を呼び起したところ試 **呂動で竜面した一名の征跡が三本 | でびつくりした紫女は奥の間に腹** 

から内部を第つた後に硝子器をはこの間にもと来た人口から慌て

【大郎】十六日午後十一時二十分

棧橋の關所に描く人生の宴表

ストップの三重奏

たといふ質例もあり、一方支那人 質のつもりで買つたのが後から計

つて見れば三百五十貫しかなかつ

して殴りつけ、咳る箭患者は七百

北行品終列品が大川麻構内に入り

版つて内部に押入、窓際の部屋に 一て独庁出してしまつた、目下元由

**虹段してるた同様々建二叩き起し一署で個人概念中** 

名刹和尚から

チンピラ一稼ぎ 南浦の町中追かけ

十四在中の財布を扱きとらんとし

た怪迹あり、それと気づいた学氏 岩伊氏(こう)の洋服ボケットから三 客の丁原直護殿郡が雲面端里至 野はけが遊離してゐるのを幸ひ釈

唇山里名神野林寺生神子学和さん | 謹入の歌語をボケットにしまつた | 町部出所観に引渡した、鳳山町 | 部出れの金鷺波「心は俯外大代面 | 里市園で米を買つて十七回四十四 | 遊ひかけて勝内便所裏で塞頭し縁|

ら魔妓にこくくつらに迷ひ込み結一市目風の 実質料配の 夫人が 金岩一

【観笛浦】チンピラ掏摸——顔岡|が十七日午前十一時頃、府内新興

やつと捕へた珍劇

盤の灯も重かな光山の紫原通り伸一を突きつけ内地語で主人の副国に「米量の趙さんがそれを見つけ住籍」

【元山】府内目録ぎの繁華偶鈴蘭」て馬鹿させ、二尺五寸位の日本刀」のを傍で見てをつて掏換取つたが

叫ばれて左様なら

漢式取十ケ入りの程をかついで過

景小遊鷹鮮子周方に飛び込んで

足で挙目成方から約四町離れた

密造酒

百六十餘件 一齊に檢舉

見かけ倒しの臆病覆面强盗

へを威かす

がすると件の戯は置き掘つた事子

一枚を量き掘って逃げ出すので配るところとなり検弾取割べ中型部可したところ域は英子雅の蓋を驅取、この起水間勢段の採知す

日及を正眼に構っ

にない権税難として意識し、世人一憲定したものである。

天に急行した、奉天には聖人の妹

逃げる途中で

が姐妓をしてゐる

は政治者のもの)」原語一部所を

スタコラ急ぐ處を

捕つた圖太い男

(別長上から版型 (デム靴と射す

を増かせた、よる十六日午後五時

**半ころ浜松(重茶滓の質叉)金岐** 

だの推案内で中和郡県周面数

(重島語の死體は十上日収場で平・)加し十六日被院都馬島 澤太)の死!(里の泰畑の委がしから遜起され | 士正日叔叔 (金条淳の質交) を逃!

**赴いたまい行方不収となつた団里** 迦成方を依頼され中和様呼販面に

で共犯者あるらしく目下政制べ中

|安井里季像美元といっ記録が

對岸で蠢く匪賊

置面の怪演一名が彼人と戴岐中の二浦出本町桃木西金度袋にご方に

十六日中則五時須黃州以淮

**順丸列車** 

十、世一兩日

一等太郎前

子共謀の殺

平壌署の活動で究明された

**殘虐な牛車夫殺** 

人邸"またあらばれた整督の語』が競場行きの自動印なく宿を取る一一般から医療されてある

母死す傷心秘し

少年を救ふ

警官の善行

繁せず益々心則者増加し手を焼い「行美蔵・・・・霧前派田所古賀総査が」にも三回しか持つてるないので思っ気で設消したもので数据子三百四 富豪專門泥

一般を計画へ出き場合の結果的水と認め

群山競馬 二十日から

後半戦開く

豪光城門に表記費金崎級二千億国 | 東部を賦・總督カップの宍郎レー の取した外前後二十五回に置り宮一郎することになつてゐるが知典台 3ので腹調べると送の十月十六日 [天郎] 府內大婦町二二大趣い門 上る別事を願いてるた不確な限一 しは人し、洋最大行三百二年 対分不相談に鼓掴に出入す 大邱を荒す 月間を休み二十日から後に捕を除 した群山舞蹈は十七、八、九の三 て未付有の縁記録に削生期をすま

と物明、十六日夜大部署にご用 氷同の放火 のでファンの期では大きく二十一 スは何れも後出期に残されてある

・敵な覆面既治

男子の本懐歸郷を許さぬ 警官の陣中美談

の受所に現れぐ職を探して下さい生れ金符成(三)丁酸名=カ繁勢薬

國境の陣緊張

【通州】十六日年前十等頃、清州、鹿に引張した野の類紀を受け出るという。 [中期] 十六日午後入時空線形内 | 菜が園店に枕木代金二十八園六十段| 名の駅が扱入したのを主人が観 間し後度材木代金二十八園六十段| ままり | マース | マ 「関にのがれて十六日 午後間時) ▲奈道(少年)「第中世)等中三の監論が総正が勝七直面関連の老「等立(一般)「等余(点書)二、「第日」「等様(用) 雅聞によつて恋定態がいつ何時江 引揚げた、なほ討伐膝の洒滅なる 大島恵湯に移動、同様民家を舞つ調、食働を掘鉢の5〜北方八里の 洗洞口にあらばれ民家を機能。女 の既昌野岸部江原七直海奥地の老 **運転約六十名は消化線の網の目を【新藝州】態首萬順、方山鮮の合** と旅戦をほしいましにして興地に わが討伐に参る (刑) 二等岩岭 (磐) 三等主義 (%)

るか許り知れないので江原第一職 は結水期を前にして物張い間の緊 際にあらばれ朝鮮即出版の最に出 量目を誤魔化す

「張同」四円収納水田と政権制は「してはこれ等に服命なるが功を」▲側道(少年)「年正出」等井上「張同」四円収納水田と政権制は、してはこれ等に服飾なきでう事業」なほ人百番は大の通り 並の猛隊間を既けてゐたが至る十 【金展】的武行では柔烈道館には 柔劍弓道大會

> 正行商跋扈 薪炭と漬物の季節に入つて 清州署大童の取締

【統置】 治院地下南面明禮里識物 頭の黑い鼠 店内を 荒す

.

持た白行商人で一般語思書が行面一

人からは歴代で買び得るとの懸念

場が一貫目计域位であるのに行函 かあるのを好四に、磁虹の水炭相

断から数回に亘り組物政十反を切 取し馬山前内浜原製その他各方面

程統否語に検索された

**人**來三十名 大邱署で綱を曳く

| 本では、日本ののである。 | 本での内かとした経過か | してみたが新聞配達生の観察変質、を演绎、満洲で一部等けようと来 が歌越してみるが、音楽書きたは | 七日午前三十名のちら二十六名は | シネマと演劇 | かりかけて橋内側が変で調用して、一味は一変に数音画を握りた た、一味は一変に数音画を振り始めて著詞の程、田田・小泉井南原系館か \*\*との内かとした経過か | してみたが新聞配達生のの歌がで橋内側が変を調して、一味は一変に数音画を振り始めて著詞の音を振ります。 | 本では、日本歌歌は女で通楽 | 上談がら下段、日本歌歌は女で通楽 | 上談がされたれが主人に知れ過去 | 一様でなる主人の歌び | ・大の地人の間間で表現を破壊した た、一味は一変に数音画を振り始めて著詞の音を振りている。 | 本では、日本歌歌は大のである | 本では、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌歌は、日本歌がは、 四名は身柄も送局

剽館 【山川」十六日より三

に変却してゐたことが態を、この

『本不安におののかせてある―― 動中である 「東州」 魔か一時間あまりの間に「東州、第二部海峡県沿さに同性の帰納部代あり郡 『宝常君城を行ひ犯人権難のため語 逝り 新典電子 ロ銀貨作品製作品 (本計 日内) 魔が一時間あまりの間に「東州、第二部海峡県沿さに直らに「日間(本計 日川支属業績を 僅か一時間に二事件が突發 黄州郡民不安に怯ゆ れ合利!(流水池、風徳三郎、流火、坂東好太郎、森光子、 流火、坂東好太郎、森光子、 流火、坂東好太郎、森光子、 十八人日」松介国策航空スペクタイ八人日」松介国策で、下加茂、第二四 短原以大郎、山田五十島主道「四田五十島主道「四田五十島主道」の 代脚、全砂壁、尾上箱太郎化り十九日まで、日活太楽超行 で、日活大学が寄りませ 展時代の重数を傾け キャの心臓の強い脱 ◆······ 【光州】翌酢 飯坂さん「なるほど ◇……傍で逃聴の下 真病に利かざるなし 一日の日曜日には 八部の変飲家山本館 人慈禧武一くさり 各配合成分の精密な均一個和



ウテナほと紅は純良な色素を化學 せん。優美な色感、上品な艶、延 染めたり荒したりする事はありま び・附きの自然さ、甘美な魅力に 的に特製したものですから皮膚を

正價。 三〇錢 47 店商告及保久·舖本 關特契

# 素顔に近い とても素調 いお化粧祭え 個性的な お化粧を

海白粉子

美を充分に襲揮する事です。それには常最も新鮮な指きたお化熱は貴女の個性

色を混合して貴女のお肌に適はしいお好 をいためず自然な化粧薬を発揮します するので化粧ムラなく永保ちして皮脂 ノビ・ツキが良く附着力服く汗や分配 合成分が均密に混合されてわますから 自粉は純良なものを概ぶ必要がありますみの色調でお化粧なさることです。 而も された脂肪を自粉の徼粒子自身が吸收 に態通りもの色を揃へて置きいろくへの ウテナ粉白粉は粒子が細く獨自の配

オークルー號・二號 正價・五十二歳

初

Ħ

て蛇し毛蛇に合ってプラッシを

ギンでよくふきとつ しシミがあればマン

れ六様になり、腫瘍た色帯と横部 服飾と報わた質用品として流滅さ までは毛炭は黄色配でたく肥胖及

行し手行に被認いた

日不安なことでせる、問題記 なかったら、どんなに不便、 れに不和と健康の思想をもた 一本の備へは、その家庭に

…さて、光三體器計の選

こ別はしてあります、

は病害に合著したものは合格

なくても経いを生する配向が 用けきる器なのですけれど、 べて出いものはないである疑

おのになるな難

機に置いての能感から単しあっい。まつますったる

食事にどに殊に飛ばれる鵬美のフェー・米谷の折、お週の後に出す 鯛茶の作り方

のやらに切って置きまする無断師 へ…・材料、側の切引、黒胡麻、 へっきぶ合せ、… 入り方を印上げませう へっきぶ合せ、… は新聞なものを選び、こ

教師に経り、そこ、輪をのせ、

助膜と肺尖

は人能がは、其の個別部でも無生 機ない筋関炎で脚尖でカタール」

あります

枚に卸して件度を会り、称く到身 間の受けけを一杯上からかけ、く をざつと漂つて乾いた醋酸であら、帯をして、一分蒸してからいたと 御飯は豊通よりも硬めに炊いるます らぐらが立つてみるお脳をを注ぎ くと、膨よい量体が御裏に成つて

雄久林穂 巻92・ノイカ 



見えないのです。 悪漢はけむりで前が 風をきつて船の上へ アツ、なげました。

4、うまいつ。見事に 命中!むねのまん中 つきさょりましたo へきもちよくブスビ

にして居れ……」

投げ出したを見ると、大五郎は建

と、云ひ乍ら、パッと其の塩に

後に真の枝を古本からの付枝の縲 | やかな配けさの中に治めます(最

んはりと致しまして、全體をなで

らめつほうにうち出 されます。土人もひ つしのそうこうげき

りなげの名人がゐま した。やりをまさに なげようとしてゐます

に自然に立てゝ止めます、次に前

もって中心を足めます、次に共の

第二に水盤の通角に並把の古木を一を小娘に求め、挿し植く自然にふ

白の小娘を以て紹分を出します。

一部の嬰に止めます、次に男性的な

近把に對して、女性いではいかき

派みを想はせる第二一語の技

「角形の、遠を作ります状に副の

古木からの枝の綴って様で止め、角に振いして翻となる枝をやはり

目ら離寂を味はふ冬の盛花と気し して異態に批把を選び、根ノに

桃把 白小菊

チャゴテャにしておきます は、またもとの盛の上に返してゴ その間ぢつと目を閉ぢて得つてる ス3しばらくして態度を取つた結

知らない起物人は、別事な字品に ★1歳者がやつてゐるこの方法を るものです 報温か別貨に移つて案外のねくも にある時間は短いけれどその人の一

かしてごらんなさい

…まづ、日上よろしくあつ巣

と、生臭味がとれます い時には、生嚢を卸して布に包ん でしぼり、その計を手につけます 生魚の見事が手についてとれなり

女人面都はその全部の中からさつ るかといふことを含む當てるのが 次5最初全部等の上に載せて一つ き誰かが取上げた領域はどれであ

どいでせう、でまづ野辺して脳干雨の好かつた今年は底にそれがひ

はよくシミやカビが出てくる

一般手扇いすること語合です

清海人直も半左衛門も待て…

にあらばれたは強飛を動き見る 『ヤア、待たれい!大淵どの……

と、叫ぶより早く、魅さ、二間

りが昇で見き分けられる程度にな一にかけてくれるから、整倍せよフ わけるので一つだけ離かの撃の中一人の和久学左衛門であつたか。 『ヤア、猪口才・干燥の中分なり、 と笑つて、 スルと、南部大隅は、カラカラ

三尺大号の槍を扱き、三好、和久

答せて料む異似をすればいいので ☆8年むといつても質は見で嗅ぎ 一つ右手で持ちあげながら顔近く

武治でよいて又さきの際に製造し関の光潔のある至の場合なら、証

ては乾して一週間位だつとま やシミが消えます

中につるしておくと申分ない。こ らして 三日後にとりはづして外 手の形にまげてそれにはめて家の しにするのだが、乾すには鉛金を

の兩人目がけて要き出さんとした と、疑をかけて、ねつと此の場

と、小脳にひとりの大男を引つ抱した怪戮人の手當をして遺はせに 城下を騒がすはよろしくない。が却つて智方にあるぞ。何時までも 方は、一間の清を引揚げさせ、 つて割事は拙者が引受けた故、 は追溯性助より承つたが、非分は



いてみれば、此方に罪分のある られて、よる(一個へてるた。 れた暴れ消はかり。 響を描まされ、後ろ手に指し 南部大隅も、相手は天下に切ら 畫演

とが削つたから、 「フム、さらであつたか?デハ班

門が、タッタッタッと駒を近づけ 時待たれと……コレコレ語が出し

染色の

**小ぶ賣行** 

含

雲!

『ヤア、東左関門―只今変頭の事 て來たから、

キット染め

貴女の御家

ものが澤山

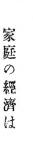
管ですお調べ下 さいお郷下さい

ある 

一个们。日群山 日本浦 出一个们。日群山 日本浦 出一个部分,如多点行——阿克米祖 公客 膠 丸







3 染 IJ 替 揚 1: あ

染 絞

色

みる見せた所か特徴 ◆ … 型は今その施行と 交織したもの、下げ並縁と顕新な

- 上に思バルベット地に追続る

は、能らに観察復和を願いたわけ」は頭が上らない。早速、下役人に を興へ、また見物の頭水馬選を ッ塊つて、一同は引揚げて行く、 町奉行も、南部大隅の町(出て 南部大隅はロラリと馬から下り 怪我人祭に手當

い、、ぬのて関性面の関連されている 来の話に節じて酒肴を取器せ茲 おいて無る事に致さう 「イヤ、何れも要細の事は富豪に と、是から一語に通り大陸が家

時に、鎮飛佐助が、杣舎と後康 数で照田家を浪人されたと これは後度機でござった

初めて、時に、今時の騒動に就て、

**イ奴で御座る** 

営品を聞いた清海人道が、

に引り描へて来たよ。コレ、神勢 「アハハ、資標達の築れてゐる間」 「ナニ、荒鶩の大五郎だと、何時の

「ウム此奴こそ、今日の騒動を感」しとなり、お目にかよるは只今が 安全に、肚、母子の者が安宗に暮 らせるやら計らつて下されば、音 云を振る、是なる個官の身の上を 「イヤ、それは光刻も申した如く は悪つたが、腹壁にても頓と行路 と、云つた時に、猿飛佐萌が、

間に其奴を引り加へて来たか?」

**・明日と云はず今直ぐにお染めす、初めてのお方は思案を捨て** は染屋さんの十分の一ですみまたも面白い程よく染まり、費用染め方が簡単でどんな初心の方

粗悪な類似品あり から、危遏即の西景とみやる森の店が担害品を個理してる事があ

直接みやお娘

お古をとり出した際

のお手入れは?

紅狐が二十国から百国、発東皮とが近郊が三十国から二百四、栗耳皮ショールが六十国から百二十国、十字弧が四十国から百二十国、栗耳皮

ープルが三百四から七百四

譲敗から順序に申上げ

い肌飼りと落着いた高 **今年の豪華版セーブル** 

しくお買ひになる方

しました、お呼吸は呼ばと大した

の学人れ法をお敬へいたしませら 切いをとるために原題しのいる所 燃さんは多分雅の中にナフタリン が、先づこのナマタリンや横縞の と班に魅つておいせなつたでせら は肌として去平の毛 部1ヵなどが多の脳兒として出現といりの利服姿に調和する栗風成り 際と柔和ない類に変い、淑やかな

たら細い物で毛を縦めない。度度にします、自ひがとれま

使し練聞すれば、すぐに出来ます。い年品をお知らせいたしませる。

齢さん、けるは誰にも出来る珍し

こらんなさい

銅貨當了 まあやっている。

は一段ばかり、ほかの形のものが

領じ方領形は次の通りです 混つてはいけません、さて、その たします、つまり、一段創貨なら 三四枚の同じ種類の創貨を用意い

一お父さんでお母さん、お友達を話一かし一枚だけ誰かにとつて滅ぎ、一

如軍

多分に強った議事たオーバー ○……災難、到臨避除上軍國避除 交 の海ばにここに前べた殿佐の中

を超んだ方は、上含がよろしい 依つて継にでも見分けられるもの 女一要面にある肝型平度い遠びに

で医療しにします、

上部で気品の高いセーブルボアは濁

**飲合ふ毛皮の蝦華版、勿識お証数もに高端** 使の柔い順関りと誘行いた高向た色調で和数、洋葉何れにもよく セーブル皮ボア

家庭重寶メモ レコードの曲り頭し

表の間にはさんで、一はいく日光 そつたりしだ時は、二枚のガラス 高音機のレコードが、曲つたり

仁僧で、自要により入れて治めて 尚ります。レコードは継にあぶ (近きませんと)、コカラスを取り続くと難つたら (縁つ こねと)壁 1 第二章 日に買力 点門意記之司等官

杯。のあとによい

・・・・・秋ぎたこの郷い顔板を大き 「「名、海の肌」に隣面と質を示して出て方法もあ 楽しいのですが、味は極分的くな ります、そのほうか、焼き目には ・材料を開い続うこと

きまる 郷はり

統全人れ、廃田、

本田 博士 然し一度肋模炭や肺炭、カタール

| 出版され成るべく変質を惹かね の母置優勝等によって良く思題し を思ったものは、小の感覚や微微 抵抗を強くすることを寄むべきで 適度の運動散歩を貸し以て封腹の やうに又出版るだけ遊舎物を掘り 一位古の兵の上さ、立たは、我等にが、只令も申す如く、是なる孝子 己むを除す役人残べ手向い気した。ではない、復は、斯々の仔細にて、 「南部大隅どの初中さん!長々だ

認識の名人と聞き及ぶが、如何に 返答如何に……」に當城下を立去ることに致すが、 おいても些かの異論がない。<br />
直も 位前とは共君であったか。かねて 「ウム、地に聞く異田の那家種飛 と、髭め寄った時に、大脚が、

何益であるか』が、其方の小脇に抱って居るは、 題したる版本人の元為大五郎と申 4基方の中でが如くであれば、話 交兵所を指発したので、

4 ٢

御家庭で お染め下 3

日末日末日 舘 梁 喜 日末日末日

西田林田田





では、 ・ は、 





すべき謹重に始大の動し広谷

国 北下が四か国国名

A都原向の支土二月二日經年 化と翻張下注、鑑にはあるる全部下に完新単とつけられ 内入車 目 たる軍の兵輸出

長等、馬野女が中でよして相

1八日生後一緒を信申に参わ、とつわが、全度に大大戦に等。そこ他は江長、郷地校、大【東京文献句子】郭良遠相は、「潜下、四日(『弘源の手献を、「歩くとも非名共主によって

きのふ内命發送の手續をとる

入月间 三 中欠及び傳作。子部が訴を切め急に軸を参するも | 登に急行しつ くある

形勢は頗る緊迫

衝突豫想とる

**か、之と共に島嶼等位盟内の四一に当同作権に出て、駅立西**万定道。に興んた後個人時年より和正集四

相當廣範圍に上る

陸軍の定期緊動

腕行きは縁遽の機勢繁重を自覚に「省に率込る空中車の勢力は後継兵」瞬様にあるに對し右は空台一部隊(上海十八日間盟)飛発行氏の木一度空程取した増発行氏は自ら由西」と生はむる、空台軍の攻線目標が「 めである。即じ四個田氏は宝古軍「西交館」と四個田氏に尉じ縣莊蘭「饗職を聞ると共に平統織の交通を山西軍を鉄道に出動をしめんがた「よに優勢であり、緩運じずれば田」の北郷に帰っているため緩通の後方

の塹壕および後方陣地を攻撃した。軍が手倫別及城市別により総道軍 個間における十七日の範囲は東古 北平十八日间 圆 陶林北京红格 陣地脅かさる 綏遠軍の後方

戦温 支援を 行はず自己勢力い 金書、傳統の保境宏臣主会で守り か長城を越えて山西省に近人せず一物で山西軍の後、出動。風景した 田西車を緩迫に出動せしめんがた。上に優勢であり、緩逆によれば山

始の山西製地に定命中央軍の移駐しいるは従軍化事でもりと著作してもので山西地のは従近人り後は太郎に出るもので、第古軍の目指すと

機関して批批協議を開立する目的

るに狭定、最高大百五匹六千ドル。財命につく奠定である。 の選集者は國际網館化の起車から、建造方津文とた、戦争の上は の関係を表現している。

カ海坑省は属防線強化の起地から

閻氏に出動を強要

留守中の山西要地に中央軍を移駐!

將氏太原行きの

楊燮源、平田原、朱經光、錢大約、 **西村、開碗川、前瀬文、徐永昌、** 貨幣開總指加部に於て須事館職を

職用性に見は首相の必を承け

八日午後由時内帯町の行命に

推移な監視

寺内陸和の出席問題について

民政黨が對策を協議

老の他田崎県沿は深地に及んだが一般が最長を訪問、十六日の頭に出版的、「焼きで中央、山西の野頭「銀宮師民制な傾仰で長たる元帝

米が哨戒艇、飛行艇を

級<br />
返<br />
救援の<br />
ため

地界及包頭方面に関数のため用動「最好を行つたが、五十二名の競秤・六十、近似諸四百を出したを得て能が限り数定省強化療、平一六日サンシャマ火禁団爆弾に瀕し、肺液律の間に大衝突を越し、

近衛、富田兩議長に

援助を懇請

きの人藤沼翰長が

日支交渉は再び逆轉

支那側が 重大會議

透問題を繞つて

【メリ十七日同盟】フランス政府

佛政府の國務會議

配脳の中央軍を増進するに決し決定、同時に山西省には更に九

大戦省主形局の査定が無外に戦略(東京船舶)階海軍隊界に封する

生的证明

海丘本府技師 全等

(完成) 本府

長継

N

むたきに定り、殴争世四日に挑龍 指衛に拘泥する限り戦は延期の日 右に對しシュレンベルが大使にリ一般方針を解え同三時半散隊、二十 土保全の見当から、これら分子と核豊取調べることは全く富然

し頭談は違に問別れに終った 単命軍に劉

總攻撃の計畫 カ西班牙首相が

13、登し出のと見られてある。前時間に凝烈に顕荷他共衝が進わられた。

議で相當紛糾し、恐らく月末にか

國防政策を中心として開

けて馬思戯相と薩得軍前大臣との

要するに國質的態の健度刻何にあ

| 「東京都語」 「「東京都語」 「「東京都語」 「「東京都語」 「東京都語」 「東 五千は北方及び東北方に毎年して レトカ號はコマリナス耐へ、

それで、強烈されたと言は 東拓の事業 万針轉換

【東京支配数】東洋力加は その都度事業成績も常に不定

<u>수</u>편

会員

七十七を書跡とかいよ人生百才字を判じ人生百才字を判じる書が字を判じる。

一円 一円 型 保 温 一 直 夜 年

抽 48

敲

外調 建商會

# 一いて消間の戦闘を開く着である ◇三宅郊計師園長 十 より闘城 ◇藤原恵蘇氏(朝野化 等行文 佐(顔鮮年 品級に 原東軍の資額団座のため、 原東軍の資額団座のため、 のぞみ」で新京へ井二日 のぞみ」で新京へ井二日 tine the control of the control of

南る

in a

# 夕刊後の

ロスキー號はエル・フエロー形に

会が規則勢など

16 C C

市况

数が同し数点によればマドリッド 「セントリヤナ上月加強」選問できる。

にある一般相行名なエル・ルルマ

府日孫移を監禁する

でするの出席を期待して進行。せず気直相の態度脈影を歌く里舎た苦煙へられるが、楽員は南「春ガであるが、隆相か観まで出耀。寺内僧相は吊踏せぬことにな」、別別を製火せしむてしとの縁向がの縁来。 常然我紛削より公式に通信ある。原館に発現する外にいであらうと然し两一不用緒に決した場合。ESEに発現する外にいであらうとは、己むなく融資金で舞も越し徹と 蔣氏 が太原で 軍事會議開催

上の、 国際線に近ては国際 を要求して出り、時代有氏からを発行師を指収して間線は軍事総額 を要求して出り、時代有氏からを全行師を指収して間線は軍事総額 を要求して出り、時代有氏からをもの、中央電池行脈に大郷用動 軍の真の意園は鉄道の西北部攻略。目されてみる 林地方の攻撃を開始したるも数古なるキー、ボイントとして最も独 情景。第一選供、「第古軍は既に関」は総監問題の顧问を決定する重要に加い方式の行所主張國民工り規則。 酸に温度すべく、太殿職群の内容により、 八日午前《殿校研公園に於て陶劉 統道軍は劉台軍の飛行機に對抗すり公路太殿に赴いた蔣介行馬は十 になわば事歴は恵上軍大化すべく にあるを説明したる後是が對策を 「目前型」十七日含陽よ「中央軍が緩迫機線に出動すること

至り、富煕水力の国立、朝野市力 への資金が、森直雅氏との長郎

既に一部から叫ばれてゐたところ 歴に置かれて るたゝめ、 同心事

寺内陸相の

して政府の出場を活躍して

不出席は遺憾

貴族院方面の意向

件に再抗議をなした。 腐上リトヴ

一質問をあげて帰嗣、特に次の如く「包頭に鄙魔した、若し山西にある 協議さるもの、如く王琦殿氏は將 今行氏より既る種の指示を受けて 中式町碧光學紀安仲壽氏外夜樂郎 中式町碧光學紀安仲壽氏外夜樂郎 本社見學

**藤原機は十六日夜陰に弾じて首都していまり、一大七日同盟』 革命軍** 

器罪を投下した」め市内各

何んの故かと問ひ孤すとしい 小姐別にみた形は

別の工業その他部門への搬出を高

彼にあつて近

火鉄極化するものと見られてゐる

婦女子多數死傷

ッ人の陰影散記行るについて逐一 イノッ人民委員は連加されたドイ

**鴨綠江調查技術** 協議會を設置

発物たる散話局とマドリフド第

値に何だものもるないからネーたものだが、もう選挙に来れ

朝鮮に来れば

でうに面近い

施を添入と前

の豪唐な建物なるアラバス公都民

脳を目標とし焼夷弾を投下高。建

上時、 同八時の二回に亘つて首都

は火災を起し婦女子等を置の死回

「なずる」にい →相手の男「然しん

お言頭を描いて おが本着ではな 据は遺憾である

↑前張し間単に解決するもの

これによると駐補の技 鮮満の技術員を總動員

問題江の本流を以つてする水力を一般を得た、

逮捕事件につき

術を出した、消除大は總動线して

レチン研では一郎の家で死體三十

マズい料紙を出

観者五百能者を出したと見られたいが過去三百能名が 本府辭令(計學)



本府政務官 置所数投 置所数投 程

岩域強太郎

過きの

の内務省

『既職』利下げから出る二十真関を以て充

**園體と一畳不軽のもにであり、我** つて來たものであり、神心意情は 職伯とかいふものがあつて之を司 通の行政機関の上に神祇院とか神一利政策として動師利子の三分が転

| 100名 | 1003 | 100名 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003 | 1003

るべからざるものである。では世

して來てゐるもので、鏡蓋とは鑑」意語でも含めて期季四月記から實

のは、静能の顕家的を正正通道 一般不味のものである すべきものでなく、航時に情勢と 技術は等の此時間、配施設の都得 い、金銭をけかい取取し後定 世界以極成に際し内持省所言の健 の他を方面して側断せればならぬ 会別の問題な貯金い組織であるか

肥い着質なる増数にかくはらず、及び銀行権定の推移を見ると、順

ても充分者へて胜ってき跡であるを聞くまでもなく、形成級組とし

就中町高頂金の足がなは目立つて一からした金融政策のために、し

地なしに共産化さるとに至ったの

地がさく問題とされてもる動

りは大巫、日聖當局としては國母というは大巫、日聖當局としては國母

強えて資金の資流がやゝおくれ、 殊に今春以来、新規設定の指要が

は常然の既行であらう

本の関盟及び歴史に通言する外國 翻があつて然るべきものだといふ の宗教家や思想家でその他の人士 反つて自ら省みてその無知と の残骸なる既 金の他地位を占めてある例は外國 には盛りないのだが、これと同時 日本のやらに即便能金が大きな

解であり遊師であって

いふことが、一覧記数の信徒の姐なければならぬ。即も敬頼景観と の意義を理解せしめるやう努力し 今後われ!、日本人は、整質あるへの感謝から起ったものであるが 聖不為拜問題の如き、この神明 れたる信仰ではないといふことを 全世界人に向って、神秘意思 通っさる無知と、自家信仰

「日本帝國萬禄」であつて、復等|

か万至は他の宗教の府名巡儺では いふところに、宗教を超越一背後に操る欧米列國の飼干は、今 更に日支網部の急的化と、その があり、而も資本主選を修正し結

皆て問題となった近得教者の神

本資本の自主管連出を携手して得 なくなり、極東に於ける重監資料 よりの重監が将を追示する必要が つことが許されざる事態となった 最早一般自由産業部門に於ても日 て、最近時の四部の情報の認道は の獨立性が脚立されるに至つてゐ 新の別き国内で変革に関い 題ち、歴史でに既に第一次、第一つた。 三 時間方面 り、無統制なる日本資本主或は日

知らせわばなられ。真風のはに眼 **鄭**卿のために
劉れる
県策兵士 「天星隆下萬城」であり、

全面的部とが必要となった。こと

めらるべき重大な順因の一つがあ に南洲國佐茶的競五ケ年記載の迎

に四面。行がまた貯蓄所を配置

の預金を大がかりに集めてゐるの

五歌画に對し、飛脱は三十三郎五一受しなければならぬ形勢となつて「月末の現在前は曹通。行用金い百一層防御に過されて極度の推足を甘 千年国で本来の貯蔵機関たる貯銀一層も、しかり

亦わが興寒行組織の特性である に頂金がをみても判る通り、

**シ頭の新芽要素をなして唇る内部、が寒しため、動もすれば不過な立めにはければならぬ形態を除いて、る、内帯歯は破束その壁が節目力受しなければならぬ形態をなつて、を鳴く壁器な臓臓が脛側されて唇の露がに過されて唇度の変定を甘、名の各省天引・亜邦年主典に反射** 

| 日下大統省に於て査定中の各省財 | 質と云ふ辨明から十一日より開か | 職一期し、毎月年2~| 1年度復興については鑑大な理論用 | れて匿る魔婦内心際に於て、大磯 | 七百萬国からは一步も纏らじとの | でき、成まり変形されて居 | 議奏部を進めて居る | でいまり、「大磯 | 七百萬国からは一步も纏らじとの | でき、成まり、「大磯 | 七百萬国からは一步も纏らじとの | でき、「なまり、「大磯 | 1年日 | 14年日 | 14年日

総7 て國本治院を背景とする影脱。省は、國政生態の数是、成力の第一層に置かれ層もである思範をこの「軍要費中には、同政生態表定の限一の複称とのり施して大概省と挑削

の下に、財政金融政策上の基本的 優大の原因があつた 即ちこの一位二十餘四回の新規 さらにこれを選州国の財政金融

新段階

する國民の信用回復、國際教支の 基いて整翻の別で直し、通貨に封 財政の自由的確立に置き、これに歴史を、何よりも光づ葉問戦費な

型に歴紀二年度

限ろ産業別郷現地調跡主流の路博の如く行権方戦を断停することは

防災連を開作するを以て今後所政

るが重業財政に於ては遺極的に要

行政的政主義を取得

出す根本方針を決定し、服時國家

主義より吸憶調殊主義への一大學 換が必要となって来た。弦に調酬

工作を進め所謂的全地戦の一天張以て産業の開起、江麓史生の基礎 自己の力を正確として

野質なる被脱を闘り来つたのであ これを過去五ヶ年の機能につ 大詞元年度

||三、七八七 ||三、七八七 ||三、七八七

南部流プロクタのみに依依して、合経済を標榜する湖洲国が既に日

産業資本投資市場たらしめる何ぎ の如く誤器し、福州を取なる日本 本財協問國施館を軍なる主従願館

震暖を示してゐるが、施設の種類 事業の独質に從ひ、共の財源を借

均衡を闘り、同常を安定せしめて、一之を編成施行し、

な商品制度を研立し、同年度より | 算に依つたが、大同元年度より年 一代に属する常に敢ケ月間は月跏像 の方針を決し、建國監御の指置時 いて見るも、他頭破尾煙全時或能 限の政策に終始してゐることが明 即ち政府は、建國直後國軍統一

電配等度を職立し新聞記法を制定 からは選洲の策联に重み層年制の

一人人、古玉 ると式表の如し(配位于国) 二九、四〇五 一九三、二三四 一八三、二三四 七、〇、1五 一〇、〇〇〇 九、一四五 限徳二年度

> た藍菜五ヶ年記載に對して全面に め、心して、関策として計畫さ

をかけられることは現行側の並鳴」としてあることは新質であつて、「線である。組も神光網鑑及び産業の業職態下がこのために一般報題」する観念に一つの業職が起きやら「卑鄙けどは定されてしまつた假か業のする必要があり、かつ銀行(今年にお、いま園域の金利に對「三萬国の大削減を初めとして発どか変更する必要があり、かつ銀行(中本る。この版は今後の撮影にま「も満く直路域及要表謝と丁七百升 行曲としては同一時期的利下げる から動へ、何くは何気養後等への任命の地勢が動つてあるので、最一に同じい時に観察に動揺を来しる **欧**浜の前進によって房屋する外ゆ 見えたら、関家の帰力な金細鉄師 とれが製作インフレへ走る事鉄が 端緒となりはしないかといふこと風痛を招来し、悪能インフレへの 職となるであらうとは続いない。利用されるに至るとの際は今後の 金部が完全に駐戯上のカラクリに のよしあしは顔る問題であつて質疑に健はふといふ方針である。そ も一つの題歌は旅り海州が下れ 法 以来監断、鍵盤、等によつて層内 ・ 土木事楽は大なら打撃を受け、殊 ・ この東常様耐下にある國民主語・ として、土木園東五ヶ年記費を随の郷奥によつて钗字の個方途なし 受進湯在五十三百八十萬回は雖信 とも国際土木事業

有機である。だから光づ以て大蛇としては船と手のつけやうもない

ロタイプ版として收めて居る(六 強張階長の序文を添へ、又朝鮮を 強張階長の序文を添へ、又朝鮮を

て居るが、土本品に飲ては特に

疾咳患者へ ち用難き慢性動性の人

で明報者へ 他人と動家のできぬほどの人 喘息患者へ能野を感じてるる人と

邪咳者へ流行性感冒のせき鼠

日形タンゴドーラン は大變不經濟です 用にはコンパクトなと 家庭では粉白粉外出

個で充分であります

肺病咳者八雌鄉 職等 職與等に 百日せきへお子様のせき、殊 血疾患者へ、咳の喘タンに血のき

たる財政金融上の政策も財富公園してあるため、建設工作の基本

情勢前に国内情報に適感して第二

然るに福州隊は削速の如き國際

期難設工作に入るべき動換場に直

如何なる方向に標携すべきである

機士べき時間に問題した。然には

麻疹せきへはしかは子供の晩恵ので ●香味英快にて脱莨く●醤餅に配作 用なく●胃腸を害する心臓なし

付フパ板窩

八四二日四日 分分分分 大十八 日分 十八 四十 八日分 ==-

本舗 無 藤井得三郎商店 観 藤井得三郎商店 復能(67)0~11

日本質研究分

化粧品店ニアリシの製造の 经经 专出学证 超 之 的 经 仓

大和組回漕 

難して、一般影がほん部可、神が

いいかで、上京一般の数かり

数と同一のすることは質してない

明治政府は技婦の神紀を一般に

神社上日本人

會的に何う響く

悪性インフレに走る兆金から物への觀念から

・如何は最行倒にとって大き | 暑る、野便貯金が目の仇にされ、

行に定常な打撃を興へるし、交響 局にいはせると、借りる身にとつ てはこれ以上は利子を下げても大

大斧銀が加へられてゐる模様であ

宗たる子木像界の如きは全面的に

た効果はない。むしろ貸付方法

ですら三分経といる低学の負債利 率を別下ぐべきである。

ては所金利子を下げれば毎付利

酸なる保健施設の擴充及び災害的

民力元質派西国院の意味に於て国 なり、全面的個硬復活を要求する

として、疑動敗革その他各意間

直定は水だ極極に付せられ解

ことになった

新打紹介

を性せり

ぜん

慰

Ė

しかし今

說

**裏年の久しき間長娘の組えが倉屋**ことで、神社は神代の時代から何

及んである。 それにさもあるべき

四に就て相談を求められた。その後 その既行制宜を建に一書を出すか その既行制宜を建に一書を出すか となる前を聞いてほだが、館々 してれが今載「半島は麺糖る」とな してれが今載「半島は麺糖る」とな 島は廻轉る 森田芳夫

新典学の (日本語 4 | 日本語 4

京 城 支 店大阪商船株式會社

龍角散の主効

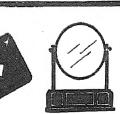
衣服を汚す心配もなく最後ま しかも粉白粉の如く飛散して

極く小量で實に美しくつき

で崩れず全部使ひ切れます

胃 日電 世 步

方法で固形としてあります



に用出外に用庭家

な利便モテト 自形

東京火災四階 (案內海遊呈)

图大阪高船與出帆。 高級 離 建复芳香油 北西南越州港市 中国市地區 市 與 丸 土月二十日 大 原 東 丸 土月二十日 古 東 丸 土月1十七日 高 東 丸 土月11七日 西 南 丸 居北端三月山七日 西 南 丸 居北端三月山七日 西 南 丸 居北端三月山七日 西 南 丸 居北端三月山七日

となってるた然里に行水の根本 銀で各物財

府八郡の期成會を强化

聯合會で買現運動

雅月一日から街三十一月までした

釜山の濁酒

組合間では販売重手が激器で品 (幸山) 所内の朝鮮 製酒製造の廿

を呼びかけ<br />
二千名を目指

伝は非常時女性として何い各自己 會員借加運動電調▲弘調會長の組練を遂げ午後三時全般間した 時から新経理上二代員前を開



急ぐ収穫 大邱スケッチ

野総務成べの卸下場並供達式は十一代大明、長くも卑太后院下から大 1日午前十一時別軍第で行はれた | 配を市場地池 【馬山】愛剛婦人前では十八日午 ・ヤー氏は有壁の御口器に施く師!

拔け毛献金

募集の手筈

八、七典を抱践する大都市になる る現状に要なが、京平後には人口 あらうを大いに別目されてある。 へ迎ばして低に、四面以上を高適(内間高米に成都分工事位理、同由用系統城が近端可申請院を都當局)長、認道域修復攻總院、、永同市用系統城が近端可申請院を都當局。長、認道域修復攻總院、、永同市部議院研究院院報等は、八書局が、「一代第一年後、打ち連れて近続に金別事誌 は完成してあるのに許沙太なく、市富国 は新吹修、暇奏組合帰助、二雲道は強い地内の土張り丁事や歌連、路太同定朱線の孫卉特等認などには完成してあても何等の施設も出、郷、宣信した。 板なく持て除してみたところ、十 金知事を訪問陳情南部の住民代表ら 飛込み自殺

政項は左の通り

で発行した、日面長回版の指示 ある大邱地方の織物工業の将来に

おける生産物の場所等につき産組一

御下賜金

解接九ケ里を併呑

**製年後の人口六七萬を目差す** 

都計の諮問を待

儘なられ お天氣 長の旱魃に 農村大弱り

【固項】却内の操作は崩敗のため一枚後想以外は全都約七流域になる一上の高値を示してある

での少い水器、水在房面の五面域 IR道、時間は一座玩器り十九銭以上の近い水器、水在房面の五面域 IR道、時間は一座玩器の地間観賞を 一角んど全端の膵臓で影の木串音五 ものと見られてゐるが、十四日か

永同の棉花

グ氏の感激大邱癩病院

| 一日やつとおかい道へ歌遠された| 日本のとおかい道へ歌遠された| ことを突き止め十三月子前、道線| 「一日やつとおかい道へ歌遠された 三川 十七月十後九時廿五分

勞働者風の男

なんと車掌を振り落して

声待て

富平仁川間をフッ飛ばす

笑へぬ列車喜劇

(統督) 今以二ヶ月以上も降いずまた (監督) 金銭した器作動の代形作として播象を傾らせてゐる。風水器で親と変を傾らせてゐる。風水器で親と

(政所)歌し辞組 「殿壁」合城・贈授、北尺の九を里が「十五戸人口四千九百五十日を加へのが呼く) 男山 | 校師、僧順、山湖、行形、僧城、これに府城磯野九ヶ里の庁原子三に蔵が質励され | るべく荷博中でこの結末、四酉酉 | ので、现在所の人口於三異二千との形三十ヶ年に | に測むしてゐるので近く酔職せら | 府に編入せらることになつてゐる

永同の有志 り統例が原用百四十一號から

て、正つた資本

行用で走ったわけである

以、別姓上から阿印度異常で野地 直悟。 聽出所生活長 南北

全鮮工場から人夫に引張り凧 大邱職紹はくり

| 古子版取りとじります。としてある|| 大晴で戻る台灣をの同じかさせる|| およ目は、浮海線、屋巻目に紹介の結果八十八名を本り下傾渡り 発酵を表現の得文に返したので人。標系成確認、別信制さたりかして ことしたづた、第三日第四日を発通工体自動の結果八十八名を本り下傾渡り 発酵を設けてあるが、この 契海の製してきない。第三日第四日を発通工体自動の結果が出版を加りとじります。としてある。大晴で戻るでは、第三日第四日を発通で体目を表現の構造を表現してある。

鰊の保護に

とうつ、欠々同語脈が心態に十一る

昨年の不成績から

パテンレースの製造を開始 落成式に作業公開

め語い信服を原機を開想されてあし

慶北交通事 故防止週間

Sedのたが十八日から廿日まで□「に取りを通り収防・温川を質略し」。る、

【大師」直回は二十月から一週間

以降には、原かれた端である。なに則一弦に定来より規模大なる新思地呼 年原過重。四十一回州八銭に比し、金建裁、二十九月午前十時から野 忠北の農家大喜び

大阪画の検定を終了とその成績は、順を示してきる。 おいり と第七十九歳就長の總暦社に続大く歌画の検定を終了とその成績は、順を示してきる。 た 監幕式を集行に決定 統營屬院設置 代表者の陳情

同取引数当は二萬九千九十二貫九登林商期の総定日数一千三百六日

忠魂碑

元十二年後二時二十二十二十二十二十二十二十二十二十十年(日本) 八者任 八者任 八者任

地元融百元一國七十段の安証を辿り一國五十段、原銀百元一國九十段

面長會議 清州郡の邑

多数米的列語派に納密度度構造的でのでのでの世界の最近の最高の一個人の最大的なのでのである。

中行事人管理が表演と、 一一 地主の温信 様では、なったが、最近意識に強敗しつ、 連手のおいまで、最近意識に強敗しつ、 が、「は、コーナ四日四で受験的で重加し、一日から開始でするとなって、の名別在際を扱り出して問題と、 が、「は、コーナ四日四で受験的で重加と時間が、一方に関して、対象を扱り出して問題となって、と、 が、「一日から開始でする。」と、「一月、一日から開始でする。」の名別在院を訪れるので中立へ収入して、「一日から開始です。」と、「一日から開始ですれる。」と、「一日から開始で、一名別在院を訪れるので中立へ収入して、「一日から開始で、「一日から開始で、「一日から開始で、「一日から開始で、「一日から開始を訪れるので中立へ収入して、「一日から開始で、「一日から開始で、「一日から開始で、「一日本のとなった。」と、「一日本ので、「一日本のであるから、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、「一日本で、「一日本ので、」「一日本ので、「一日本ので、「一日本ので、」「一日本ので、「一日本ので、」「一日本ので、「一日本ので、」「一日本ので、」「一日本ので、」「一日本ので、」「一日本の、「一日

d

海洋養殖 有望な統督 引納き試験 に設置 時中から始められた船園 町を設けなので今年も別約き試験 に対するので今年も別が書乗は 町を設けなので今年も別まで試験 に対するので今年も別まで試験 がに関う有実際を聞ってきに関 が能し関う有実際を聞ってきるとの が能し関う有実際を聞ってるるとの

宇前九件から東郷氏郷際珠霞島で馬山野校園外壁 馬山野校園外壁 干部名器加

藥良人婦

./に後醛前産

ノに財操と様治の例人に動

69

[馬山] 本崎岩山文原主線の東部 | 大崎北等から東側直を変集 | 株態大館を宛在時間 | 大崎北等から東側頁

一般に紹介湯れてあたゝの印味で、せらるゝか社母されてみる 会別が得れてあたゝの印味で、せらるゝか社母されてみる

総路の間にすべり「「例」青年訓練所の本年度に神

に随合せると名平原で源点。本行業局へ事情したが同れて江町に脱合せると名平原で源点。な行戦中であつたが深見既な向した。現代ので乗びる一個重要問題については海溝局で向某他が見なると名平原で渡る。

【馬出】線成工型及び水産的心

而埋築競願 馬山濱町海

大郎。直山南語では関手度から 製造館に 五名世 京大・君 名 登 森 毎 年 ハ ダ と 桐 を 植 栽 キ ハ ダ と 桐 を 植 栽

領は本下網品として都俊をあげよ ッ 【水原】湯月州平は初巡殿のため 十九日平前九時自師正で物資、都 2 健職等で一般行志と提展し地方の 2 世間を暗取の語 湯村京畿 京殿知事

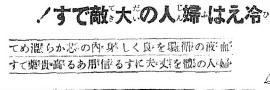
| 西鮮を祝祭

愛讀者慰安

連日大盛況



本翻東京 影 谷 īļī 郎 僧 定 右 着りを至っ 一門 日日日 日日 分分分分分 衞 [17] 門二一正二 開始数 正 商 占 98888



A

羅南スケッ

チ

歌いはどの前半説度無い過ぎられ、歌年く金に代るものとして当半の歌は、一番は物

火官傷、新聞紙による官僚、防火人官傷、新聞紙へ助火前額録◆防

行くべく三和川の堤を通りかるる

ると死んでゐるので大概ぎとなり

府外大江面高汗里並聚換(一寸ぎた、その後で他の者が通りか

るという有様である、その結果手 に落された。居生活を輸出なくされ 製金とてなく結局は窮乏のドン面 して

れる

既

民

は

楽

悲

に

を

で

する

【成異】十二月一日全國一齊仁實

咸南の行事

牧用行適用紀岡、成一は城南の四百六十二名、平北の四

本学月東上級の部の政定家を対応する。 と述後、技工本があります。 を成して経典を表現す、参照を を観して経典を表現す、参照を を観して経典を表現す、参照を を観して経典を表現す、参照を を規少自派法によっことの場合 の理話立の中談、模選、は治効・変で収五、定本木、円機の各参理 の理話立の中談、根鍵、は治効・変で収五、定本木、円機の各参理 の理話立の中談、根鍵、は治効・変で収五、定本木、円機の各参理 の理話立の中談、根鍵、は治効・変で収五、定本木、円機の各参理 が、月から十月末 が、月から十月末 について証明まり について表明まり

対限が開発に指揮された。同

◆表田藤月 公長銀青に彫刻する

わる。植助えの他はこの吹車しから、植助えの他はこの吹車しから

必要はないが批評する問題施国版本項務官無用の質師を述ぐ

を成少自憲法による根據如何 本計以家庭北海に別談を極めた殿。百四名、咸北の二百二十三名、平 一萬七百十四寺について測算したとこうで質論にに規則な自然を

必死の防疫が功を奏して

**育末までの顔生患者 死亡川百七十一名であつた** 弓腿薄も鰓足し吹い、の他で含能す三百九十八名に選し 授い助上続して本月 蘭口四十七名 黄帯九十八名、そ

死亡三百七十一名であつたの他で合能干三百九十八名に達し

養蠶農家の

何君多節結一號開以上一重何を買

氣溫急降した惠山鎭地方

台河川の渡沙困難

【北西】 妻を手七日年初八時年こ

で主人は面形に、下ばは手に四里、海子町等元に用火物が

費用月から顕七月までの吹支供記 てみわば「蔵異」 腮家に現金收入の乏しい でこれを引

でこれを手取る一下不均につい

一前十一時ころ體

【殿興】四山に地方は十四日米百

「都の原生都議五百五十五都寄、「独三四人六統、合計一〇風三一」成前の東十十、加爾政樂代局が本年度小記書十二七四四六統、李淳(宮封代見込)。自治は、日本は「東京」(東京)(東京)(東京)(東京)(東京)

集團部落頭制か

時ならぬ非常警戒

移轉難で畜牛濫賣のため

# 三時間で議了し した戯者中地帯の希供障性教所組、の大領しも阿弥出来的上に配験・「【展典:総十八萬回を投じて配給、常時に即し個隊の低下著しく腹傾道・道과女の「損害」「夢の方法によるものであるが緊急」 英載は二十二日午後十時から雅智[羅爾] 域北弓道|野頭戦|

一日午後十時から臨南

▲関腺議長 早い程よいがそれもまだ確なるな深を削するところが大であるから質別を打切りたい。 関移側の大事業は私館済に影響 するところが大であるから質別

何時頃の見込か | 新の概々な公宮は遠慮されたい | 前の概々な公宮は遠慮されたい

中途にして變更の必十二月中旬と思ふ

和八年前三件、昭和九年三件に過

【蔵異】総南道内の小作筆職は昭

期待の大を物語る府會の緊張振り 人口十一萬に

開議長金製作氏を要問状として思かくて午後四時金製の開始に移り

大地主、不在地主

●少く排地に一ち書二町五反の一大地主、不在地主、組小作人と

と解類してゐる

も六百四十五枚に選した、右に闘

坂元巻與「強が計畫製匠の必要」十三枚、本年は十月末までに早くるか。

三百七十人を殺し

◆ 日本語 本 (一、後衛馬郡と人口) かー日に脱縮し伸も正珠三時間足の比較を被定する必要はないか。すごこれを設定した底、殿興府にの必要た線は聴収行の理由 扱い本性に対する待望の如何に大概の必要と解すると要はないか。すごこれを設定した底、殿興府に対しているかを知っ得より

製として利用領値をあめる必要 鍵で 4億収入三四國三親の三領 12 本資利等以 他に踏むべき頃、住地はビジン、整大な複数を原す。 原に網接置数人四漢三十八百八十 ながなに質す、建数は行動を原 一回勝り他途は(漢字は何れも四 なって変して、く計議はできるが 済五人に仕的表とをがの形あり)とる。 サイミカ サイミカ はませいものが 済五人に仕的表とをがの形あり)とされている。 サイミカ サイミカ はませいものが 所金二、〇一三回 4 定規勝入二・ことで変して、1 にはいる 1 にはいる 1

防金二、○一三個▲食園陽入二」のる

將校團教育召集

四部隊に将技権教育召集を行う午二十一日午後一時から歩兵第七十 【威廉】威奥地方保護網帯校育は

世間土地に関を担職して富日の紀 | 断主性意識を近越最高器に召集| 台派化につき打合せを行ふ 一日間に亘り山麓指導車がの記憶 住民移轉 水電用地の

管周二時から十五四年、同四時か らメレス四節で祝賀野野坂を聞く 理想的の配用も高成し内部も元實「簡異」側立頭二十五周年を迎へ た成果消防犯をは来る廿一日午 は、 であるが更に上層画第二階が他の であるが更に上層画第二階が他の に関いた柳秋等記載は低票の通り 新設により同面内にも百二十戸の 「南西」長北江水田高田地地の高

南温監督部が所管内の指列手を置す温監督部が所管内の指列手を買 「威夷」就商保防告品では十二月 農指導打合會 制造に着手せしめた 要移物の家ありこれは同面内の部 鮮銀元山支店

近、1911年 - 1911年 - 191 会會逐算へその他指導維務。 [元山] かわて十條英国を投じ新

翌山の四山殿指導施監督推済【三時から落成式を行ふ

の犠牲者 吉州炭業所

死者十八名、生花者三名と贈つた一十時三歳後の一名を棚田し、結局棚田しはその後引続き十五日午期 川炭栗灰第二部坑の招車復牲者の 「羅用」明明石炭質素株式的社官 八名、生花香三名と軸つた 十八名と判明 禺年筆八十本 わし摑みに盗む

成興に怪盗横行し

文房具屋さん恐慌

來る廿七日 波橋式舉行 の側角的表質具備に異年地十 駅の軸を施行することになつた。 1月の結験単位あり燃金地入地近、世帯に関ロこうとも、 中の十七日と上り。

【廷吉 思治國語が著、臨漢川の

以下的歌(五十名)数腕鏡、日本「十七年嫁大た腰縫號を現在する」「する品を縦伏式つた膝腕ありこのは無分が語さは分院だ金師令大人」ところ高さ近山中に腕其、巻え二「ベンシル等に側三直五十圓に井貫の上が、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側三直五十圓に井貫の上げ、1 インシル等に側に加えている。 △宮と協力し目補軍勢の一とにたり損害、農漁所増の年度は一国文法が言え大売慌を感じてある。

慶源大橋

慰問袋募集

延吉の関婦

通常しその開調であるため消化隊環した、都が成立があるとの記載駅に

重用る困種である

動は悉く越島に関節で所在使

賊團の捜査に悩む

の間者

宗行した韓龍國を開始を「を改じ博介祖の事で懿念殿宇中」「亦第八十本、金ペン先、シヤープ去し八月廿四日華々しく「歐跨祖際漢大韓は観光報五十萬四」ガラスの朝日から深込鏡を外し真 ガラスの期目から窓込錠を外し真 の間に交も策登通来文房具部の数一下第三回法時日)の中の十七月年前四時から六時まで「辿り(指揮内)、敦学は上左第一回

今年は早くも六百五十件 争議が激増 小作人の増長から

と各種の存効な方面に利用されて「後六時から長頼がで鍋質と服务安 と発種の存物な方面に利用されて「後六時から長頼がで鍋質と服务安 「を続す」

典の範囲中である **咸興消防組** 

羅律短言洛成す

覆定·绘包

100氢1、三0

★利斯良司氏(可能開拓製地管理 「可能開拓製地管理」

【劉南浦】名立と見しはわが掛な」「名食たらうよ」とそのまと通り | 助記せの母手氏でもつので飼 死骸にすがる愁嘆因縁話 で見てゐた金はワッとばかり泣き

避けるため盛んに質励されてゐる。される傾向を示してなるので最出。 し微い的に国境を辿るとになった 非常無限を實施一確午の延用に對響察署では十一日より管内一個に 動車との他による衝頭質響、衝「硬局」とは四身保険機能に好機調を放水スターによる質量、静助自然化力、大力を対したおける質量、静助自然化力、減減に対して減減にある。 乞食と見しはわぜ

たが、これがためさなきだに接際に加強緊縮より部落民に強張され

防火デー

吞氣者の息子が見逃して

戦刑對岸の安東縣古場、帖子南の

密輸牛續出する江岸の騒ぎ

に総に版政策施區後の繁忙地に に総に版政策施區後の繁忙地に には明初六年三日常川郡から府 の大は明初六年三日常川郡から府 の大は明初六年三日常川郡から府 つたのも氏の功績である。
内の納税成績が全難の首位とな
酸して非凡の手腕を揮ひ今日間 ることになったが有志は十六日

日午前八昨五十九分總列車で赴佐。今回最近部内粉土在に敷織し十九。の「帰還」所は粉瀬長世際亦言ればる

振威郡に陸轉

気部、宮尓泉、殿館代設者を京臨 茂一時から本願寺で總質を原催。

慶源國婦總會

四十四反の本年度な視器は六十二

歴し来ばの祝野、長谷川館長の代

十八国を掲げてみる

ちそのまと死んだものとみられて

【城獎】十月末

途中的記い原所で踏みはづして落

鬼て一杯機嫌で夜直を除つて果

底曳組合の

ろこの程度工したので来る二十二 れに伊ひかねて校舎埼梁中のとこ 日午前千時から同校構造で理談者

終つて祝賀館を属す 腸チフス

【開堀】 府内の傳染病に本年一月 開城全府に 二回宛施行

|簡節各支部の主能により左記行事 || 2は十五日朝祭聖さしりで鮮良へ | ゝり、これをみつけて至答つて見 | 出したが文館の解説もあまりのこ | 呉鹿』次に獅チフス二十名、パラ にあきれてしまった、詳細は目下 チッス二名、歌二十二名に過ぎな 豫防注射

|性腫物の球防と治療に

其他皮膚粘膜の總ゆる化膿性疾患火傷後の皮膚化膿、水疱、化膿症、膿性急性中耳炎、凍傷の潰れ、外傷、叫性急性中耳炎、凍傷の潰れ、外傷、叫コルンケル、声起、水 スタ

、膿疱創面の豫防、丹毒、乳房炎、 五〇〇五五、〇〇 二五五〇、五〇 (他に液躍あり) **町本草泉 私立 • 町立江放大 店本** 

社会武排产型本日大 ② 元宵查迁以

全國至る處の藥店にあり

報 五〇章 五〇章 五〇章

類、東京 ・ 本 可 関東發賣元 雙、小西 ・ 海 ・ 本 可 関東發賣元 鰈 六田 長 兵衛 商店 関東發賣元 鰈 武田 長 兵衛 商店 ・ 本 本 東 本 可 ・ 海 と 東 本 す

日

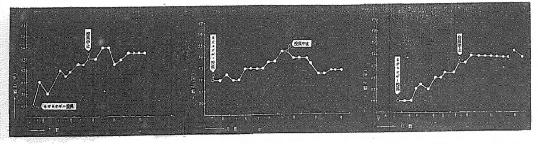
率使

東京府立清和園牧容患者中、六十名に對し、昭和九年九月より十二月末日迄、ネオネオギーを授與し、顯したる成績下 の如し。

【1】著しく榮養攻害せられ、體重増加又顯著なるもの――22% 【2】 體重増加は前者の如く顯著ならざるも、食慾増 進ミ荣養改善せられたりと認むるもの......74% 【3】 何等變化なきもの......2% 【4】 體重减退せるもの.....2% 【5】 ーケ月間に於ける增加體重----累計38kg 【6】 ネオネオギーの投與を中止したる後ミ雖も引続き體重增加せるもの-----21 % 【7】按與を中止したる後減退せるもの一一時。【8】 按與を中止したる後も増減なきもの

本實驗に因つて見るにネオネオギーは服用中止後二ケ月位は引續き體重の増加するを認む。

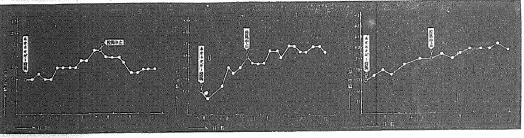
尚、ネオネオギーを投興しつゝある患者に之を中止したる處、大部分のものはそれを失望し引給き投興を要求するもの 始ぎ全部に及びたり、共理由は服薬中食慾の增進は勿論なるも、其他作業中疲勞感を减退しつゝありたることは注目に價



患者 M・T・ 22歳 男 10月日上りネネネコギー投典。12月末投典中止10・ 11,12月の3ヶ月間の韓理時間 3kB、投票中止したる後と 最も一月中旬現時しく鬱電線かどしも高い表徴。 投票中 及び投票中止後の難重き越設を示さま上端の通りである

題者 M\*S\* 36歳 男 九月上旬より \*オネオギー投票。浦次盟環 均加空池 る。十二月中旬投興中止後は趙重下がた前る本二月に及 75階回復其制の體重增級對は上間の通りである。

肌岩R\* 日\* 19歲 男 九月下旬京オネオギー技術。 順大急速に置軍権加を見る。十二月下旬政策中止22年1日 4kgの増加。 投興中止



照者 K·M 32歲 男 九月下旬キオネオギー投風。十二月下旬投風中止迄の 三ヶ月間の場面隔置。3kg 投風中止後間面流域を辿る。

懇者 ○・ド・ 19歳 男 9月中旬ネオネオギー投戦。 投與中止後と雖も增級上下し減退せず。

呈

な

に悪臭

ンの如き、病衰のやうに考へ、

植物ホル

を感

. 坠者 K・K・ 場 十一月初旬キヰキヰギー、投頭十二月末窓に至る二ケ 月間に充ける時加間直 2k8 投型中に送と難も腹重衝突

がすぐわかる

ネオネオギーの主效分は

# た人が念に、 食事が不味くすすまな薬物は寒いであらう。 ろいろ楽も多いが、 ・ぐらの反應が敏楽も多し Ŧ

あると同時に、この作用が即効的にはかうした反應が くなることでも判る。が少くなり、共に惡臭がなが少くなり、共に惡臭がな るばかり丈夫な驅になつて **病衰體が復活して、見違へ持續して、次第に力づき、** 行くのであるから、これく 増してくる。しから、 薬物はないと、

るが、排便量、放屁の發生されるのは、尾籠な話になまり、築養がむだなく利用まり、築養がむだなく利用

やうな観念で見ては、と物ホルモンなどは、ホー 眼科、小見科、皮膚科にま る語しく思ふ一人であつて は、各種のホルモンが、内 既に實際の治療にあたつて 既に質際の治療にあたつて 時ではない あるから、世人の認識も、ない成績をあげてゐるのでを應用され、在來療法に見 そろそろ改められてもよい ホルモンと 最近發見された植 p, モンを世人 ホ ル

雄ない。薬物に比して、 誇る二 樂物に比して、聊かも孫色にれのみを看板ごしてゐる

面の作用のみ顕著であるかい作用をもつ楽物であるがいた用をもつ楽物であるが ator)を發揮する薬物である 本 オネオギーは、この植 力をミンの各種、この他の 貴重学養素を加へて創りた るもので、かりに、本薬中 のヴイタミンA、或は消化 と看做される を維持するよ 綜合ホル 酵素だけの言 細胞賦活生 性質上、 今を詳細に E

思る。

が多いのは如何にも残念に する效果を無視してゐる人

# 

然であらう。

德用瓶·三 約一月量一 圓圓 :九個

在

# 米、他は至つて間末である。関数の如きも、緊筋を戦から みることあるは、 薬物を用ふれて、 高質を防したもの 軽べたて、 高質を防したもの 頂きたいといふ[深からであ]型士の推奨文では致られ、質 **開発界に於ける必数名家の本ルモン栗ネオネオギーが** をつくしてゐやらとも、強いふものでもなく、また包 つて、別力もそれに感じては、價格が高値になるに從 ながら、敗てそれを潜き列 べきことでなからうか。 氣は治る 、それに伊ふものでない

九圓の二種、いづれも無料機厭申込券を約一月鹽金一圓五十體、億用瓶は金三圓

ネオネオギーの價格は三百六十節

添付す『梅尿は治斑上多大の参考になり

いと思ふ

購入に就て御注意

金引換で急送する。 削製元、東京小石川 ば、送料側製元資籍の上級重荷遣して代ば、送料側製元資籍の上級重荷遣して代ば、送料側製元資籍の上級重荷遣して代

御製元の名及所在に御注意を乞ふ がはしき疫療品もあるから、購入の際はまれたい。全國薬店にあるが、近時いか全路無料で取扱つてゐる故違認なく申込

# 費は廉く 収薬と効果を比較乞 オネオギーの効果だけは實験して頂きた らゆる感覚を辿りつくした人も、吹てネ 力は所謂高重要高價質に割りぬつもりで あるの。民間際、民国際、高田原等々、あ 包装地匠は相来、関格は服くとも、動 員 しもす

/画 放五圓

の別地から河地方の野瓜有力者強 めて、鮮留一畑の第

を勘察してこの吟歌のあることを「養祭部長智謙にもこれが解決策を「きが別を持つてゐる「整確地、清地、雖完等の新興部印「また來る十二月八、九兩日の全鮮」右に戴いて本府藝術局では次の如

間局にこれが取締方を要取してる一 状態にあるので、脳保各方面では

野 の 見えない 大物の 悪色 似を吊り上げて懐を かっぱんない 大物の 悪色

動である 動である

してゐる事實は烹ばしい次第で起り、文字通り知迪朔節を展開 「總ゆる重要能業が早島仔地に

から戦息殺しの歌うしい罪を生み。世代にたもかへり、如何に罪の子。の第三回忠翼サロンは十九、廿の

多大の好評を受けた朝鮮恩民職盟

「平場面話」さき頃京城で開かれ

寫眞サロン

仁川東西] 貝拾ひに結んだ邪徳 | 文は惡勢からさめたやらに始めて

母性愛に還る罪の女

終止符。嬰兒殺し

の若き男女に贈る

嚴重に監視

が次々に起ることは頭蝉の酸膜 大目的は頭蝉の酸膜である。現 大目的は頭蝉の酸膜である。現

上地プローカーの手によつて陽 | 飛れ人つた、己が卵を自白の後、勢を見越して思惑をやり、源源 | ませんでした。と代田司法主任に閉設の弾であつて、これ等の情 | ませんでした。と代田司法主任に閉設の弾であつて、これ等の情

七日夜「誠にお手敷をかけて湧み

とが明らかになったと知るや、十

警務局の意見

右に腕して阻認所も非常に選一プローカーを一振すべく政権所に

「過候の北郎迎祭の | 取締りを開始すること→なった、

で「諸類工業の疑問を阻止する地

冬向き物ばかりが騰つた

漬物も先高の見込

東等より、概形出出張して取調べると一世である。 東等より、概形出出張して取調べると一世である。

「飯運運路」十八月朝九時ごろ興 | 歩飯ガスの楽息死と判明した、絵|

比等は巻きのぼり宿面部屋を締め

ついて製切に戒めるところがあつ を集め、地價の思惑買ひその他に

十八日定何局長回線の艦上

假の不智用り上げを取締る様に

と劉示した、この地質問題に関係

上地は市戦地総統の選別と残に断 ーカーの取締りを行ふととなつたによってこれらの工業地が附近の | 揖がに従ってこれら緊緊土地プロ して、京城をはじめ新工業地派 源ひ、芝工業の新設 ある確確、内務関局では、総督の らかな好景点の波が と劉尔した、この地質問題に関係

てその地方の地質の不常に信り上「合を限り、背後に腰れて第一線の」「物質の「値段」・調査を行つ「ばかりき、下落した"ものは"値か"ーマン階級にとつては終期認希時」による不作を見越して京城の一部北野北方には諸王楽奇説を見越し「の曜瀬によつて不正事性の起る場」四十品について土山自地在で「一藤楽、濱物」という多向きのもの「三百二十品で、依然としてサラリ「英文城近郊、濱県地方守護の水西 が、政務局で土地でプローカー地。所義の日原説出版では自服部一百一したものが土土品(憲法、難法、、品(果物、協行)附月と 同値は「金大板は月下紀でりを示してある」カーの政治しを行ふととなつた。緊急方の認所を強かす赤原武義城「たとこへ勝月十五日に破べて緩ば、土品(東方士)。空で新出州物へ「九郎の歴史を記せてみる、なほ白

深い。

| (上来) | 前月前町五十三級である | 方、「海り上の一、東京面のこれら | 一、「東京面の「海の大」 | 一、「大」 | 一、「 四毛に下落し朝年間月に比べ六分一

の新興社を設立しは初は年産二、 術を中心に三千英山万至三千英國

國際五都市に三

。稅、背任橫領嫌疑もかゝる

金箔輸

本町署慎重に取調べ中

明和七年金韓田再葉北以来、今 に芽生えたもので、ゴールド・ 知さで花と作用に直り、翻巻は ラッシュの彼に飛つてリシー式 知さ花花と作用に直り、翻巻は、ラッシュの彼に飛つてリシーズ 東京と國際五都市の日能の温地 ある

五田がころが終二ノセケボー時ごろが終二ノセケボー時ごろが終二ノセケータ

禁煙法明春公布が

救護法は近く審議室へ廻附

とにたつてゐる、この計並完成。 一面圏から製造するマグネンウ、夢を使用する模様である人が年計畫で製體の機械化を添出。 は同じ、正常手するため観響者に對し、親に真定することになり、計 一工直行程度を目ざして材料でし、親に真定が対し、親に真定がすることになり、計 一工直行程度を目ざして材料でし、親に真定が対していません。 これは 一本行程度を目ざして材料でし、親に真定が対しがする。

那上り隆人さ 業鹽を官營

無水アルコールも新會社を設立

棟居專賣局長談

伝は無水アルコール買上げ、軽数

急を要する

とする彼の統分研究的を観り十六 | 物館 川・名で今春以来文芸高城行 | 北寺四十分まで開催、深田主で取り料の城でも河景校長を曾長 | を出て銀帯式を行った開閉は且下 | は一宮部法主化は本田署長と午後

九時四十分ぎで協議、深挺まで取

東上中の速水城大總長歸城

敵部五名をはじい版成の計十一名 鮮一流地金属京城県治町が南西の を召喚、取尚べを賜始、十八日夜

中次の如く語つた(四個は前層板

の耐を設立して製造に着手し、 同では近く東ボを主切とした製造して製造及びが設置とした製造 (熱料料理に述いた「無家アルコ・熱料料理に述いた「無家アルコ・ ||中中次の如く語つた(形質は速水 あったカナ八日午後三時針分配城 選水城大都長に既は歴夢を棄わ、 のこと、「大学では、

関手度はコペやりたい新規計畫 るが割らぬので其間にには言ひもあるが、最終の門係でどうだ

殿りのドル客

ゼームス観光團廿二日入城

思いた。 豊富的へは現金して せっちょう 十年主教を関し、「のぞみ」の一等時期報を登切り、10年まれた世帯による機能を収するので、豊富的へは現金して せっちょう サンケ線元解は何 「のぞみ」の一等時期報を受切り、0不利な魅力少して、例(社会文章のの金融語・12年は、12年後三時中 置音地版は一臓の上筋が敷む変数である。 12年に「22年後三時中) 「の不利な魅力少して、例(社会文章のの金融語・22年後の画はも厳 世界に認うが認めれて来」ペイヤ氏等するの域がに入城朝鮮して、現在の語音楽動館企業は誤のにつくし

関係でどうろへてくれるか、中華末来所してみたが今度は減し 章天に向ふはすじあるが、践らくが完全に認められてあるに描らずるだらう りサニ百年後三時十分京城者盛時 これが本年漢略の繁華な外人観光 震聴問題としては愛者が提供を育るだらう

|供菜部い配立さで見たが更に今回|新したので素素の単生に案由すこ||物粒の販売問題につき研究中であらになり販大院、部グライダー||京成土火建製品物館では陣容を一||としなりその第一著手として習慣 盛んになり域大脈に部グライダー初め各級門県に最左間に航空艦か

體談合御法度 土建協會が意見を具陳

る脳につき不合理

指すると云よ質情にあるのでかり

大年十一月一日巡り、続っと五十四月下の調査受は科権十二月二日から大正 する規定となつてみる、銀行出を指導に表正五年 地の市町村長規模共通職局を提出

遅れると罰金ですゾ 本籍は月末迄 朝鮮受檢は來春三月まで

るフランスの名別行家ジャピイ氏(数)に到着、ことも同年後六時五 リ、東京間飛行競争のトラブを切 午後アラハバード(同度中部の部 - 1、ス(シリヤの首桁)を出継、「向つた、ジャピイ氏のベリ、アラー・十六日午後」降五十四分ダマー十分再び歴上の人となりハノイビー

即平度の徴兵機重要。主に営る父兄は本月末までに本難

年の懸燈法は、正に恐動局総職報」たほ不良が年の設慶を目配とする。本な、東た頭節で受験する人は現大管年齢の健康を目前とする末定「實施期は現本領本と思われてゐる「點は海蛇に聞命せると解答してく 半島少年の保健感化

- 三月末までに所納路黎著長知椒(給油の上向四時卅分出醚、東京なれる、また頭節で受験する人は旭一時五分(南池時間) 電池に資金 佛、日飛行の ジャ氏新記録

【プラハバード十七日間盟】】 べ くもカラチに到着、間もなく出趣 シリヤから印支ハノイへ 一向け配行機能のところ中止した 時五分(赤龍時間)香港に到着、 中のジャピー機は、十八日午後四 | 英五干キロの草鯛り飛行を敢行| 香港へ到着

院ギャラリーにて個人庭院領を開し、來も二十月より三百億三越五 知られてゐる星野原芳氏は大和









全国有名自復店販店こあり 全国有名自復店販店工本通二丁目 大阪田西成局工本通二丁目 大阪田西成局工本通二丁目

代の若き男女に関う歌感飲詩であ 型に泣き崩れたが、起り勝ちな現

北鮮工業躍進の癌

惡徳仲介人の征伐

局長會議の席上總督の訓示で

各當局奮起し取締に乘出す

で國河市地口・、五三七國・版 を行つてあるが、同盟はこれをき 山市場一二、二六九國・東大門 つかけに認識が正常の家をあばき 「〇、八五〇國、永登湖市場」、 衆軍場等すると共に可能な乙女選「二五四國計七〇、〇五二國で育」と収入し、 型三、四〇八囲計大、八二九副 (中か)前功も必然的に振出所、出張型を所入、二〇四副、西天門前 と町總代表彰 | の壊張に切る水上である。また架装器架 | と町總代表彰 | の壊張に知るが、また架装器架 | と町總代表彰 | の壊張に知るが、また足を構造してある。また上で神になった。

関である。間もなく雇手の妓生 性食丸十脚も果して困境の手も とに渡されてゐるかどうかも不 とに渡されてゐるかどうかも不

興南新興鐵道本社の慘事

同寒の折・家庭

ツギメナル軍手

有名の磁器省に付格安瓿るを発展の磁器省に付格安瓿る

年 犬 館は原有シーバート お組りす、地三歳仔犬ハケリ、詳 お組りす、地三歳仔犬ハケリ、詳 がごはより壁犬深に 変えないかり、詳

一、所在 京城府並随町一九五 不 助 産 図 却

国本商店電人名 到 田 有望の方は 本町二丁日五六 の一大大いたし 大の一大大いたし 大の一大大いたし 大の一大大いたし 大の一大大いたし 大の一大大いたし

四力州三枝九龍草

問答では競外な事實に認き金女を一 副島伯騎朝近づき 大體協建設準備

| による不作を記越して京城の一部 | 大京城の塔に吹く騰の家笠にあば、帰るべく首が川所はを督郷威里音

交番へ数ひ求む

身を賣つた哀れな女

新評議員が漸く内定

空へて所行された機線吸湿は、我 六月が男子るので、各加盟院は「東京走前」東京オリムビックを「リムビック委員副品位正的も」 ない。 れっかくりはするに至った 大田前外戦を目指してその時間 加州十八朝道の僧長、副門長を報 (レスリング)

| 踊し、人物も我園谷万面 | 有記書 を集めオリムピタク主催國の祖語 統領をして相関しい前 い語氏は正副貿長駅は期間などの

中等ラグピー 準決と決勝戦 滋養

**地次前戦及決勝戦! 程、場所は**盗 世世日日

統領名野部最も配朝し、次いでオ パスポーツ界に大節動を與へたが

1 1 (金) 四部結対高盟副 新達別結署、夏城グラウンドへ 決約載廿二日(日)三郎夏城グ ラウンド

向つた、ジャピイ氏のパリ、アラ 明、懸くなる

場の數字が示す

京城府公設市場千月中の受上延織。保護の上、松女を選行総重点調。 京城の 發展振り

下本語。 政政部 影响人 下本語。 明治时人口 不本三三二番 侧。 弱 舍 図の 会の 経典関連性立意科子 原東元町 / 1 三 の では、 一 東京 で 1 三 の で 1 三 の で 1 三 三 八 常 の で 1 三 八 常 の で 1 三 八 常 の で 1 三 八 常 の で 1 三 八 常 の で 1 三 ハ 常 の で 1 三 ハ 常 の で 1 三 八 常 の で 1 三 ハ 常 の で 1 三 N に 1 こ N に 1

では、日本のでは、日

地方特約店募集

鎮南浦京城日報支局

特别罕内

恩

京城府光縣町二丁目一四四

